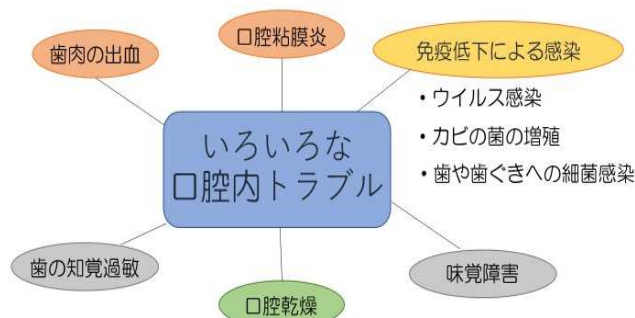


今回の診療技術部だよりの担当は医療技術科（歯科衛生士）です。

今回は「抗がん剤使用中の口腔有害事象」について紹介します。
 抗がん剤の副作用として口腔粘膜炎、口腔乾燥などの口腔有害事象が出現する可能性が高いことが知られています。
 当科では口腔有害事象が出現した患者様を対象に、口腔内有害事象の症状緩和・重症化予防を目的とした口腔機能管理を実施しています。

抗がん剤治療中に起こりうる口腔有害事象



口腔粘膜炎とは

抗がん剤が口の粘膜（舌、歯茎、くちびる、頬の内側など）の細胞に直接影響して起こる炎症症状で、多くのがん患者さんが悩まされる副作用の1つです。



痛み → 食事を摂る、飲み込むことが困難

お口の状態にあった口腔ケアを行うことで

- ①『痛みをやわらげる』
- ②『粘膜の感染を予防する』



図1 口腔粘膜炎（口唇裏）

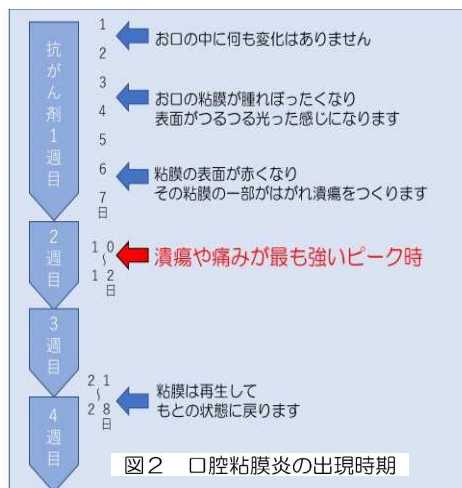


図2 口腔粘膜炎の出現時期

口腔粘膜炎が起こりやすい場所

抗がん剤治療の場合

- くちびるの裏側、ほおの粘膜、舌の周囲（側面）の粘膜

放射線治療の場合

- 放射線があたる範囲に含まれるお口の粘膜

口腔粘膜炎が起こりやすい場所



「がん治療中のお口のトラブルとケア」(サンスター株式会社制作) より引用

抗がん剤開始前に行うことが望ましい口腔管理

抗がん剤開始後は、易感染性・出血傾向が高くなるため、抗がん剤開始前までに以下の口腔管理を実施しておくことが望ましいです。

- 口腔のレントゲン撮影
- 歯周病治療
- 歯磨き指導
- むし歯の治療
- 入れ歯の調整
- 抜歯（必要時）

口腔有害事象が出現した場合のケア

歯ブラシの選び方

- ヘッド部分が小さいもの
- 毛先がやわらかいもの
- ハンドルがストレート
- 届きにくい奥の部分などにタフトブラシ



歯みがき粉

- 研磨剤および発泡剤不使用・低刺激のものを

洗口液・うがい薬

- ノンアルコール・低刺激のものを

口の保湿

- 保湿剤（スプレータイプ、ジェルタイプ）
- 医師の処方したうがい薬（グリセリン、アズノールなど）
- 生理食塩水（しみにくい）



口腔粘膜炎による痛みが強いとき

- 医師の処方した痛み止めの薬
- 痛み止めの作用の入ったうがい薬（キシロカインハチアズレ）

（歯科衛生士 小佐野 優希）

今回は 医療技術科（視能訓練士）です